


事業名	重点目標	8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
アルコール関連問題についての啓発パンフレット	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標		
アルコール問題を抱える市民に対し、適正飲酒・相談先・問題行動への対応の仕方等について啓発を図る。	区健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
アルコールの問題を抱える市民・支援者	単年度事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
アルコール関連問題対策庁内検討会(健康増進課・保健所)		
取組の内容		
<p>パンフレットを作成。 <内容> ・お酒の飲み方について ・問題飲酒を疑うポイント ・お酒について困っている時の相談先 ・お酒に関する問題行動への対応 ・自助グループや相談先について</p>		
 <p>The screenshot shows a multi-page pamphlet. The main title is 'THE アルコール問題 おたすけ帳' (The Alcohol Problem Help Book) with the subtitle '~お酒のことで困っていませんか?~'. It features a navigation bar with icons for '飲酒量の計算' (Calculation of alcohol intake), '飲酒習慣のチェック' (Check drinking habits), '点数ごとのアドバイス' (Advice by score), 'アルコールにまつわる様々な問題' (Various problems related to alcohol), and '家族の対応について' (About family response). The content includes a table for '適正な飲酒量と、多量飲酒の目安は?' (Appropriate alcohol intake and guidelines for excessive drinking) with columns for alcohol type, standard amount, and excessive amount. It also lists 'アルコール依存症の特徴' (Characteristics of alcohol dependence).</p>		
取組の成果		
アルコール関連問題についての啓発パンフレットを作成し、関係機関(病院・区役所等)に配布した。		
課題	今後の方向性	
医療機関等で活用してもらえるよう、連携のあり方が課題。	要請があれば、医療機関に出向き、使い方等の説明を行う。具体的に相談時や啓発時等、広く活用していく。	

事業名	重点目標	6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
こころの健康セミナー	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標		
さいたま市の精神保健福祉の普及・啓発活動の一環として、専門家による講演を行い、市民のメンタルヘルスの向上を目指す。	区健康づくりの目標	
事業の対象者 市内在住、在勤または在学の方	単年度事業・継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
取組の内容		
平成28年度については、子ども(特に思春期年代)のスマホ依存に関する講演会を開催し、子どものスマホ依存の実態・家庭でできる予防や対応についての普及啓発を図る。		
テーマ『知っておきたい子どものスマホ依存～考えてみよう！家庭でできること～』		
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師講演 独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター 医師 中山 秀紀 氏 ・質疑応答 <p>*スマホ・ネット依存のほか、メンタルヘルスに関するパンフレット(こころのホームルーム)等を設置し、配布。</p>		
取組の成果		
申込み者142名、参加者120名で多くの方が参加した。アンケートは86名から回収し、回収率は71.7%であった。アンケートについては、満足度が約70%で、具体的な意見としては、先生の講義に最新のデータを組み込みながらスマホ依存についての知識を知ることができて良かった・質疑応答で家庭内の対応が具体的に分かったなど、好評であった。		
課題	今後の方向性	
来年度のテーマについて、市民ニーズに合ったテーマの設定と、PRの工夫が課題。	来年度もテーマを検討し、PRを工夫して継続して実施する。	


事業名	重点目標	8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
産業保健と連携した講演会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標		
産業保健と連携し、働き盛り世代の自殺を防止するために講演会を実施し、自殺予防の普及・啓発を行う。	区健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
市内在住・在勤の方	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
埼玉産業保健総合支援センター		
取組の内容		
平成28年度については、うつ病や不眠等を引き起こすことに関連のある、お酒についてをテーマにし、普及啓発を図る。		
テーマ『働く人のこころの健康～お酒との付き合い方～』		
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「飲酒による心身への影響とは」 与野中央病院 沼口 亮一 氏（精神科医） ・講演「適正飲酒について」 さいたま市こころの健康センター所長 		
※適正飲酒のほか、メンタルヘルスに関するパンフレット（こころのホームルーム）等を設置し、配布。		
		
取組の成果		
※3月8日に実施後加筆し、提出します。		
課題	今後の方向性	
※3月8日に実施後加筆し、提出します。	※3月8日に実施後加筆し、提出します。	


事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
運動教室	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標			
高齢者の健康維持・促進、運動の習慣化を図り、生きがいを保持し、自立した生活を営むことができるように支援します。	区の健康づくりの目標		
事業の対象者			単年度事業・継続事業
概ね65歳以上の元気な高齢者			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
各区高齢介護課、いきいき長寿推進課、運動地域指導員、運動専門指導員			
取組の内容			
<p>1. 運動教室 運動の器具が設置されている、市内33か所の公園や小学校等において、運動地域指導員や運動専門指導員による教室を開催しています。</p> <p>西区: プラザ中央公園、滝沼川第2遊水地、植水公民館 北区: 領家中央公園、稲荷第二公園、本郷第六公園 大宮区: 大平公園、寿能公園、山丸公園 見沼区: 東大宮中央公園、青葉南公園、観音寺下公園 中央区: 与野公園、与野中央公園、大戸公園、八王子公園 桜区: 新開小学校、田島氷川公園、千貫樋水郷公園 浦和区: 調公園、針ヶ谷小学校、鹿島台公園 南区: 谷田小学校、浦和競馬場、神明丸公園 緑区: 三室シルバーワークプラザ、東浦和中央公園、美園臨時グラウンド、尚和園、松芝公園 岩槻区: 槻寿苑、岩槻文化公園、慈恩寺親水公園</p> <p>2. 運動地域指導員派遣事業 高齢者の運動習慣化のため、自治会や老人クラブ等の要請に応じ、運動地域指導員を派遣しています。</p>			
取組の成果			
平成27年度実績 運動教室 実施回数 525回／参加者数 10,000人 運動地域指導員派遣事業 実施回数 1596回／参加者数 28,924人			
課題	今後の方向性		
運動地域指導員の派遣依頼が増加し、負担が大きくなってきている。	高齢者の運動習慣化を図るため、今後も運動地域指導員を養成して充実に努め事業を継続していきます。		




事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
口腔機能向上教室 (二次予防事業)	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の目標			
高齢者が、口腔機能の低下により要支援・要介護認定状態に陥らないように支援します。	区の健康づくりの目標		
事業の対象者			単年度事業・継続事業
基本チェックリストの実施により、二次予防事業対象者となった高齢者			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
各区高齢介護課、いきいき長寿推進課、地域包括支援センター(シニアサポートセンター)、埼玉県歯科衛生士会			
取組の内容			
基本チェックリストの実施により、二次予防事業対象者として口腔機能の向上の項目に該当した高齢者について、お口の体操や口腔ケアを実施する教室を案内します。教室は1コース4回を年に2～3回実施します。			
趣旨			
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔機能向上の必要性についての教育 食べ物をおいしく食べる、楽しく話をする、よく笑うなどの基になる口腔機能を維持・向上させる必要性があることを説明しています。 ・口腔清掃の自立支援 日常的な口腔清掃の意義と必要性について分かりやすく説明し、動機づけや習慣づけを行います。 ・摂食・嚥下機能等の向上支援 セルフケアとして日常生活の場で継続的に食事内容の工夫やお口の体操等実施できるようにしています。 			
取組の成果			
平成27年度実績 実施数 26コース 参加延べ人数 218人			
課題	今後の方向性		
事業対象者が教室参加につながりにくい。	平成29年4月からは新しい事業へ移行します。		

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
生活習慣病重症化予防対策事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者が医療に結びつくとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者(以下、「ハイリスク者」という)が保健指導を受け、人工透析への移行が防止される。	区の健康づくりの目標		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
①受診勧奨:糖尿病の未受診者・受診中断者②保健指導:糖尿病性腎症ステージ2~4期	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県、埼玉県国民健康保険団体連合会、さいたま市4医師会、保健センター			
取組の内容			
<p>(1) 未受診者、受診中断者への受診勧奨 未受診者(※1)や受診中断者(※2)に対して、市が個別に受診勧奨通知書を送付する。また、結果値が悪い方には強めの受診勧奨(電話勧奨)を行う。</p> <p>※1 ① 空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又は HbA1c(NGSP)6.5%以上 ② eGFRが基準値(60ml/分/1.73m²)未満 ③ 尿蛋白2+以上あるいはeGFR30ml/分/1.73m²未満 特定健診にて上記結果を抽出しレセプトデータより医療機関の受診記録がない者</p> <p>※2 上記検査値にて、通院中の患者で、レセプトデータより最終の受診日から6か月以上経過しても受診した記録がない者</p> <p>(2) ハイリスク者への生活指導 市が糖尿病性腎症の病期が第2期、第3期及び第4期と思われるものを抽出し、委託業者による生活指導を実施する。</p>			
取組の成果			
<p>上記(1)未受診、受診中断者の受診勧奨:対象者数1,097人に文書勧奨実施。うち、359人に対し電話勧奨を実施。 (2)ハイリスク者:市内選定40医療機関で実施、通知送付数370人、同意者68人(昨年度64人)で現在実施中。</p>			
課題	今後の方向性		
選定医療機関の数を昨年度の20から倍の40に増やしたが、同意者はほぼ変わらなかった。選定方法が変更になったことも理由と考えられるがより対象者が多い医療機関を増やせるといい。	ハイリスク候補者が比較的多い医療機関を医師会に提示した上で、平成28年度にハイリスク者(保健指導)の対象者を増やす方向で準備していく。		

<p>事業名</p> <p>重点目標</p> <p>事業の目標</p> <p>事業の対象者</p> <p>取組の内容</p> <p>●特典1 特定健診早期受診キャンペーン 平成28年4月27日～8月末までの早期受診者に対し、抽選で宿泊券やスポーツ観戦チケットなどの企業の協賛品をプレゼントし、比較的受診率が低い早期の時期の受診率の向上を目指す。</p> <p>●特典2 初めての受診者に対するキャンペーン 平成28年度特定健診を初めて受診した方に、特定保健用食品などの企業の協賛品をプレゼントすることで、生活習慣の改善に努めていただき、継続受診を目指す。</p>	<p>重点目標</p> <p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	<p>分野別の目標</p> <p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p> <p>区健康づくりの目標</p> <p>単年度事業・継続事業</p> <p>継続事業</p> <p>浦和ロイヤルパインズホテル、ラフレさいたま、大宮アルディージャ、埼玉ブロンコス、みなみやま観光、六日町山の家運営企業体、埼玉東部ヤクルト販売、埼玉ヤクルト販売、大塚製薬、大正製薬、浦和レッズ、株式会社タニタヘルスリンク、キリンビバレッジ、明治アイスクリーム販売、武蔵野銀行、市民生活安全課、スポーツ振興課、ステップアップオフィス</p> 
<p>取組の成果</p> <p>特定健康診査受診率は、平成25年度(キャンペーン開始前)より年々若干上昇している。 (法定報告:平成25年度34.2%、平成26年度35.1%、平成27年度36.5%)</p>	<p>課題</p> <p>データヘルス計画において、40代の受診率の増加および初回受診者の増加を目標に掲げているが、なかなかこの年代の受診率を上げることは難しい。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>平成28年度の内容については、初めて受診者へプレゼントをする内容に変更したが、結果を見ながら次年度の内容を検討していく。</p>



事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
高血圧予防の啓発	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
浦和区健康まつり参加者が講演を聞いて、高血圧予防に努められる。	区の健康づくりの目標		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
浦和区健康まつり参加者	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま赤十字病院、浦和区保健センター、アシスト浦和21			
取組の内容			
<p>●平成28年11月6日浦和区健康まつりにおいて国民健康保険課のブースを出し、医師による高血圧予防をテーマとした30分の講話(3回)、作業療法士によるストレッチ指導(3回)を実施した。</p>			
 			
取組の成果			
参加者は、熱心に聴講しており、高血圧予防についての知識を得、生活習慣病予防として運動の必要性を理解できたと考えられる。			
課題	今後の方向性		
健康まつり参加者は、比較的健康意識が高い人が多いため、呼びかけると参加者が集まるが、まつり参加者以外にも啓発の機会が必要。	データヘルス計画において50代以上の循環器系の疾患の医療費の割合は高く、高血圧予防および生活習慣病の重症化予防に向けて啓発は必要であり、機会を見つけて実施していく。		





事業名	重点目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
世界腎臓デーinさいたま中央	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標		
来場者が、各ブースを体験しながらCKD(慢性腎臓病)の予防に努められる。	区健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
与野イオン来場者(主にさいたま市民)	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
さいたま市与野医師会、さいたま赤十字病院、国民健康保険課、中央区保健センター、中央区地域包括支援センター(ナーシングヴィラ与野)、中外製薬株式会社他		
取組の内容		
<p>●平成28年3月19日(土)与野イオンにおいて、医師によるCKD(慢性腎臓病)予防の講演や減塩の試食、ストレッチ指導、薬のお話し等を実施。国民健康保険課では、COモニターによる呼気一酸化炭素濃度測定を行い、禁煙とがん予防・CKD予防の啓発を実施した。</p>		
		
取組の成果		
<p>医師によるCKD(慢性腎臓病)の講演を聞いた後、各ブースに参加する流れとしたため、参加者は慢性腎臓病についての知識を得るだけでなく、体験を通して楽しみながら学ぶことができた。国保課ブースの来所者へのアンケートでは、メタボ予防がCKD予防につながると98名中77名の約8割の方が回答した。</p>		
課題	今後の方向性	
<p>イベント参加者は、比較的健康意識が高い人が多いため、呼びかけると参加者が集まるが、イベント参加者以外にも啓発の機会が必要。</p>	<p>CKD(慢性腎臓病)の予防および生活習慣病の重症化予防に向けて啓発は必要であり、機会を見つけて実施していく。</p>	




事業名	重点目標	1 がんの予防と早期発見の推進
がん検診未受診者受診勧奨	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標		
・受診勧奨により、がんについての知識の普及啓発を図るとともに、がん検診をより多くの方に受診してもらい、がんの早期発見を図る。	区の健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
①乳がん検診:41~61歳の女性の内、過去二年間の受診歴が無い方。(ただし今年度、乳がん検診無料クーポン券を送付した方を除く。) ②子宮頸がん検診:21~41歳の女性の内、過去二年間の受診歴が無い方。(ただし今年度、子宮頸がん検診無料クーポン券を送付した方を除く。) ③40歳の方で、胃・肺・大腸・乳がん検診のいずれも受診歴が無い方。 ※年齢はいずれも平成29年3月31日時点	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
国立がん研究センター		
取組の内容		
<p>●平成28年度における5がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診)の未受診者に対し、対象者別に3種類の受診勧奨はがきを10月上旬に送付</p> <p>①乳がん検診受診勧奨はがき (国立がん研究センター資材提供)</p> <p>②子宮頸がん検診受診勧奨はがき (国立がん研究センター資材提供)</p> <p>③40歳対象者用(検診対象初年度者用)受診勧奨はがき</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>		
取組の成果		
平成28年度がん検診等の検診実施期間は平成29年3月11日までとなっており、平成28年度の各検診の受診者については、最終的な受診者数が確定していないため、取組の成果については平成29年度中に調査する予定である。 なお、平成27年度の乳がん検診については隔年受診へと切り替えた影響で受診者数は減少したが、受診率は2.2ポイント増加した。子宮がん検診についても、隔年受診のため受診者数は減少したが、受診率は0.4ポイント増加した。		
課題	今後の方向性	
乳・子宮ともに隔年受診のため、受診者は減少したが、受診率はわずかに向上した。今後もより多くの方に受診してもらうように勧奨する必要がある。	引き続き受診率の向上につながる勧奨(主に個別勧奨)を行っていく。	

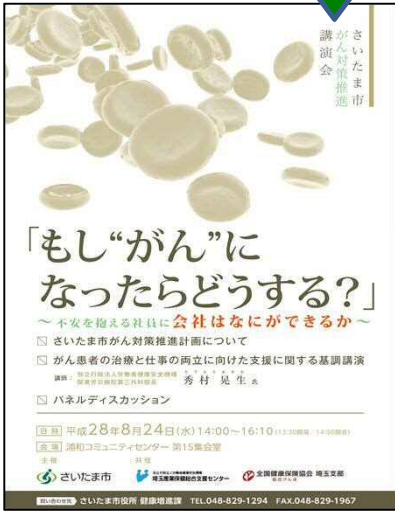
事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
8020歯の健康教室	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標			
事業の目標	区健康づくりの目標		
<ul style="list-style-type: none"> 正しい歯のみがき方を身に付けさせる 歯・口の健康に対する意識の啓発を図る 			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
市立全小学校の第1・2・3学年の児童と保護者	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市歯科医師会、埼玉県歯科衛生士会			
取組の内容			
<p>小学校第1・2・3学年の児童を対象とした歯科衛生士による歯みがき指導と、保護者を対象とした学校歯科医による歯科講話を実施するものである。</p> <p>●歯みがき指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校第1・2・3学年の児童を対象に学年単位で指導を行う。 スクリーンに映る絵や写真、動画のスライドを使用して、口や歯の働きや大切さを学ぶ。 大きな口の模型や歯ブラシを使用し、歯ブラシの持ち方・動かし方、みがきやすい歯ブラシについて学ぶ。 歯みがき体操の音楽に合わせ、みがき残しがないように歯をみがく。 児童の後ろでは保護者もこの歯みがき指導を見学し、親子で正しい歯のみがき方を学ぶ。 <p>●歯科講話</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者を対象に、スライドや冊子等を使用し、児童の歯・口の健康について講話を行う。 各学校の実態や保護者の要望にあわせた、むし歯や歯周病、不正咬合、食育などの内容で行う。 			
			
取組の成果			
<p>本事業の指導を受けた児童からは、「ブラークがむし歯の原因だと初めて知りました。正しい歯みがきでブラークが取れた後は口の中がスッキリしました。」「いろいろな歯のみがき方が分かりました。楽しく歯をみがいて8020を目指します。」、保護者からは「歯ブラシの持ち方から歯についての知識、歯のみがき方など、子どもたちと一緒に楽しく学べました。」「普段歯科医院ではなかなか聞けない話を学校歯科医の先生からたくさんしていただけて、今後にとっても役立つと思います。」などの声をきくことができ、児童・保護者の歯・口の健康の意識が高まり、正しい歯のみがき方を学ぶことができたという成果を確認することができた。</p>			
課題	今後の方向性		
<p>児童の発達段階にあわせて、スライドの内容や教材の工夫・改善を行うとともに、よりスムーズな運営のため、児童の持ち物や学校の準備、実施形態について見直しを行う必要がある。</p>	<p>今後も、さいたま市歯科医師会、埼玉県歯科衛生士会と連携を図りながら、継続して事業を推進していく。</p>		

事業名	重点目標	分野別の目標	3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上								
公民館介護予防事業	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進								
事業の目標			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成								
			6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消								
各区の高齢介護課と公民館が連携し、高齢者向け介護予防事業を展開する。	区の健康づくりの目標										
事業の対象者	単年度事業・継続事業										
65歳以上の方	継続事業										
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
各区の高齢介護課、いきいき長寿推進課											
取組の内容											
<p>市内にお住まいの65歳以上の方を対象に、参加者同士の交流を図り、仲間づくりや生きがいづくりを進めることで介護予防へ繋げることを目的とした事業です。</p> <p>生きがい健康づくり教室とシニア健康体操教室を公民館、各区の高齢介護課、いきいき長寿推進課の主催で実施しています。</p> <p>1 生きがい健康づくり教室 元気づくり、健康づくり」の視点で、介護保険制度、口腔ケア、食育、体操、レクリエーション、歴史、文学、時事問題、世代間交流、防犯、防災等の様々なテーマをカリキュラムに組み込んだ講座を公民館で実施しています。</p> <p>2 シニア健康体操教室 高齢者の介護予防を促進するため、ヨガ、ストレッチ、ウォーキング、リズム体操、バランス体操等の様々な体操教室を年間を通して公民館で実施しています。</p>											
取組の成果											
<p>平成27年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>生きがい健康づくり教室</td> <td>事業数 230事業</td> <td>回数 1,150回</td> <td>参加延人数 37,061人</td> </tr> <tr> <td>シニア健康体操教室</td> <td>事業数 158事業</td> <td>回数 911回</td> <td>参加延人数 24,808人</td> </tr> </table>				生きがい健康づくり教室	事業数 230事業	回数 1,150回	参加延人数 37,061人	シニア健康体操教室	事業数 158事業	回数 911回	参加延人数 24,808人
生きがい健康づくり教室	事業数 230事業	回数 1,150回	参加延人数 37,061人								
シニア健康体操教室	事業数 158事業	回数 911回	参加延人数 24,808人								
課題	今後の方向性										
男性の参加が少ない	<p>○男性が興味を持ち、参加したくなるようなカリキュラムを増やしていく。</p> <p>○参加者の安全面に配慮しながら講座を運営していく。</p>										

事業名	重点目標	7 受動喫煙の防止と禁煙
禁煙外来治療に関する情報発信	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	分野別の目標
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
たばこをやめたいと考えている市民に対し、保険適用で治療ができる禁煙外来医療機関 [※] の所在地や治療に関する情報を伝える。 ※平成27年7月29日時点の情報	区の健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
たばこをやめたいと考えている市民	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
市医師会、歯科医師会、さいたま市健康づくり推進協議会、ICT政策課		
取組の内容		
<p>①さいたま市ホームページ</p> <p>検索：地図情報システム</p> <p style="text-align: center;">と入力して検索ください。</p>  <p style="text-align: right; color: red;">ここに掲載しています</p>		
<p>②リーフレット</p> <p>平成29年1月～ 保健センターや市内の協力医療機関にて配布</p> 		
取組の成果		
保健センターの健康づくりの教室や特定保健指導の中で具体的な情報が提供できるようになった。		
課題	今後の方向性	
掲載されている医療機関の情報更新の頻度	①については引き続き掲載していく。 ②については在庫がなくなり次第、配布終了。	

事業名	重点目標	分野別の目標 1 がんの予防と早期発見の推進 2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進 5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
さいたま市健康マイレージ	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
働き盛り世代で健康への意識はあっても 時間のゆとりがなく日常的な運動習慣が少ない市民や在勤者に対し、ウォーキングを通じて“継続した”健康づくりに取り組んでもらう。		
事業の対象者		単年度事業・継続事業
満20から64歳までのさいたま市民、市内事業所		継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 さいたま市レクリエーション協会、さいたま商工会議所、全国健康保険協会埼玉支部、一般社団法人さいたま市薬剤師会、さいたま市4医師会連絡協議会、埼玉県国民健康保険団体連合会、市と包括連携協定を結ぶ関係団体、スポーツ団体、保育施設ほか		
取組の内容		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">体組成計でカラダを「見える化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体組成計で身体を測定。 ●体重・体脂肪率だけでなく、1日の基礎代謝量(キロカロリー)、筋肉量、部位別の脂肪量なども測定。 ●自分の身体の状態がひと目でわかります。  </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">活動量計で身体活動を「見える化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●参加いただいた方に活動量計を配付。 ●ポケットやかばんに入れて歩く。 ●歩数が測定でき、1日の消費カロリーも見ることができます。  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>歩くことで“健幸”をサポート</p>  <p>活動量計かスマートフォンを持って歩くだけ。少しずつ歩く習慣をつけましょう！</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>歩いた実績に応じてポイントを付与</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>専用Webサイトで経過を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データはパソコンやスマートフォンの専用サイトで確認。 ●自分の身体の変化を見てください。 ●また、参加者をランキング化する予定。 ●歩いて貯めたポイントを確認。  </div>		
取組の成果		
事業開始後間もないこともあり特筆すべき成果は現在のところなし。今後、初回説明会時に収集したアンケート結果等を踏まえ効果検証をしていく予定。		
課題	今後の方向性	
多くの市民の参加促進と継続参加民間企業等との連携	継続して実施していく	

<p>事業名</p> <p>ピンクリボン運動</p> <p>事業の目標</p> <p>・市民が乳がんの早期発見のために、月に1回の自己検診を実施することや定期的な乳がん検診を受診することの重要性を学ぶ。</p> <p>事業の対象者</p> <p>市民</p> <p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p> <p>埼玉県、埼玉県立がんセンター、大宮西ロータリークラブ、戸田中央総合病院グループ、自治医科大学附属さいたま医療センター、埼玉Breast Care Nursing研究会(埼玉乳がん看護認定看護師会)、日本生命保険相互会社、アメリカンファミリー生命保険会社、アルシエクリニック、パレスホテル大宮、NPO法人埼玉乳がん臨床研究グループ、公益財団法人埼玉県産業文化センター・大宮ソニックシティ株式会社、アフラック埼玉総合支社</p> <p>取組の内容</p> <p>10月の乳がん月間に合わせ、平成28年10月9日(日)に大宮ソニックシティ イベント広場にてピンクリボンライトアップ、平成28年10月29日に大宮区民ふれあいフェアにて、乳がんに関するブースを出展した。</p> <p>*ピンクリボン運動…乳がんを早期発見・早期診断・早期治療のための運動</p> <p>①ピンクリボンライトアップ 17:00～JR大宮駅西口駅前にて ティッシュ配布(乳がん啓発) 18:30～ピンクリボンチャリティーショー 19:00～ピンクリボンライトアップ</p> <p>②大宮区民ふれあいフェア 10:00～15:00 ・疑似乳房触診体験 ・乳がん相談コーナー ・乳がんパネル展示</p> <p> 点灯式前にはミスユニバースジャパン埼玉によるピンクリボンチャリティーショーが行われました。</p> <p> 乳がんを早期に発見し早期に治療につなげることで、乳がんによって命を落とす方を減らしたいという想いのもと、清水市長からも検診を受けましょうとメッセージをいただきました。</p> <p> ピンクリボンがソニックシティビルに点灯されました。</p>	<p>重点目標</p> <p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p> <p>II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり</p> <p>区の健康づくりの目標</p> <p>分野別の目標</p>	<p>1 がんの予防と早期発見の推進</p> <p>単年度事業・継続事業</p> <p>継続事業</p>
<p>取組の成果</p> <p>疑似乳房触診体験参加者数は277人であった。触診には、比較的若い独身・子育て世代の女性から中高年の女性が積極的に参加しており、乳房のしこり体験や自己検診について、多くの方に普及啓発ができた。</p> <p>課題</p> <p>今後、ブース内にポスターの掲示を行う等、参加者の啓蒙をはかれるようなブースの設置が必要。また、疑似乳房触診体験をより多くの市民にスムーズに行える体制づくりが必要である。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>引き続き、それぞれの団体と連携をしながら乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を発信していく。</p>	

事業名	重点目標	1 がんの予防と早期発見の推進
がん対策講演会 ～もし”がん”になったらどうする?～		分野別の目標
事業の目標	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
(1)市内事業所関係者が、さいたま市がん対策推進計画において、「市内事業所等との連携によるがん対策の推進」が重点的な取組に掲げられていることを知る。 (2)市内事業所関係者が、従業員ががんになった際に、事業所として対応できること、相談する窓口等の情報を入手することができる。	区の健康づくりの目標	
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
市内事業所の経営者、人事労働担当者、産業保健スタッフ等	単年度事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
関東労災病院、埼玉労働局、大宮公共職業安定所、埼玉産業保健総合支援センター、全国健康保険協会埼玉支部、パイン株式会社		
取組の内容		
<p>日時:平成28年8月24日(水) 14:00～16:10</p> <p>会場:浦和コミュニティセンター 第15集会室</p> <p>内容(1)さいたま市がん対策推進計画について説明 (2)がん患者の治療と仕事の両立に向けた支援に関する基調講演(医師) (3)事業所における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン説明 (4)パネルディスカッション</p> <div data-bbox="150 1317 529 1473" style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>①がん経験者 ②がん患者の雇用主 ③がん患者就労相談員</p> </div> <div data-bbox="1027 958 1382 1272" style="background-color: green; color: white; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 200px;"> <p>市外からの問い合わせもあり、定員を超える申し込みがありました！</p> </div> <div data-bbox="871 1249 1267 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 250px;">  <p>「もし“がん”になったらどうする？」 ～不安を抱える社員に会社はなにができるか～</p> <p>□ さいたま市がん対策推進計画について □ がん患者の治療と仕事の両立に向けた支援に関する基調講演 講師：埼玉労災病院産業保健課長 佐々木 秀村 先生 □ パネルディスカッション</p> <p>【日時】平成28年8月24日(水)14:00～16:10(13:30開場・14:00開演) 【会場】浦和コミュニティセンター 第15集会室 【主催】さいたま市 共催：さいたま市産業保健推進センター、支援健康保険協会 埼玉支部</p> <p>さいたま市役所 健康増進課 TEL.048-829-1294 FAX.048-829-1967</p> </div>		
取組の成果		
<p>120名の定員に対し、111名の出席。30～40歳代の人事労務担当者、経営者の出席が多かった。事後アンケートでは「参考になった」という回答が83%以上だった。 参加者がそれぞれの立場でがん患者が仕事と治療を両立するための対応方法を考える機会となった。</p>		
課題	今後の方向性	
<p>事業所における治療と職業生活の両立のためのガイドラインの説明を短時間で組み込んだが、もっと聞きたいという声も聞かれたため、今後は全体の構成を再考する必要がある。</p>	<p>来年度以降は埼玉産業保健総合支援センターが同様の講演会を実施する予定となっている。今後は当課がその協力を行う。</p>	